磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市十五丁目12番地
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人　遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番
定價1ヶ月50円　1部2円

新川南方耕地え道路を

建設省で平市復興豫算決る

平復興建設事務所では此の程建設省から廿六年度工費豫算總額として廿五年度の倍額二千五百萬圓の査定された旨通知があつた、廿六年度は昨年に引續き新川南方耕地の道路化、驛前三十米道路の綠化等に主力が向けられる豫定である

永山繁美氏川前收入役に就任

川前村では收入役永山勝哉さんが永い病氣療養生活から舊ろう二十六日退職したので其の後任を急いでいたが八日の村議會で同村會社員永山繁美(六〇)さんと決定した、永山さんは元同村在鄕軍人分會長で最近追放解除になつた人

農地委員長會議

石城郡下各町村の農地委員長會議は十六日地方事務所で開く

母子援護の運動

市の募金割當ても決る

市では未亡人及び窮迫している母子の福祉增進を圖るため一月中に母子援護資金募集運動を實施の準備で寄附章の造花が入荷次第直ちに運動に入る、市の目標額は十萬四千七百廿四圓で募金方法は戸別訪門と街頭募金を行う各町內の割當額は長橋町二千圓、古研町二千三百卅圓、紺屋町一千六百四十圓、田町四千二百四十圓、一丁目二千廿圓、二丁目二千七百九十圓、三丁目二千一百圓、四丁目一千八百四十圓、五丁目二千四十圓、新川町二千六百圓、材木町九百卅圓、鍛冶町一千七百十圓、久保町一千六百廿圓、南町二千八百九九圓、胡摩澤二千一百十圓、北白銀町二千二百卅圓、仲間町二千四百五十圓、鎌田町二千九百九十圓、立常一千八百六十圓、堤ノ內二千二百八十圓、南白賠町二千三百五十圓、大工町四百六十圓、才槌小路三千廿圓、舊城跡五千圓、月見町一千七百八十圓、北目町千百圓、大町二千八百四十圓、上平窪一千五百卅圓、中平窪一千五百九十圓、下平窪一千八百卅圓、中鹽七百卅圓、四ッ波三百卅圓、幕ノ內鯨岡七百五十圓、鐵官六百廿圓、禰宜町正月町一千七百七十圓、飯野支所六千九百九十圓、神谷支所七千二百五十圓、更に街頭募金は市內末亡人の街頭進出によつて行うもので割當目標高は二萬圓なほ石城郡下の目標額は四十三萬六千三百廿圓である

現代誌の懇談會

中央文藝誌「時間」の編集者詩人北川冬彥氏は本月中旬來市當地方の時間の同人と共に現代詩の研究並びに懇談會を開く豫定

去來六號出る

鄕土文藝月刊誌去來第六號は八日發行去來は市內仲間町光田年雄氏の編集で最近各方面から認められてゐる

吊し上げの張本人

實弟に化け就勞中檢擧

內鄕町署では平職安と協力昨年八月九日平職安所內鄕紹介所で雇用係長鈴木正氏及び同所青木雇員に對し數時間に亘つて吊るし上げた末暴行を働えた張本人を搜査中だつたが九日早朝內鄕町大字竹の內日雇皆川兼造(三三)を內鄕署で檢擧した皆川は當日弟三郎の就勞手帳を不正使して就勞していたので判明しなかつたもの

四ッ倉署列車取締

四倉町署では八日午前七時四十八分上り列車の一せい取締りを行い、精米八、五キロ、大豆二十五キロを所持していた同町下館無職上原友義(五二)同じく精米二十二キロを持つていた同町蚫川漁夫磯部洋(一七)の二名を檢擧した

鐵道公安室でも

平鐵道公安室では平地區署と協力九日午前一時二十分(平驛)上り二一二列車に警乘原町、平驛間で無主物主食十一箇(二俵半)を押收した

久保木氏縣農委員に繰上當選

縣農地委員沼田一吉の死亡によつて縣選擧委員會では委員の補缺選任の選擧會を開いた結果次點者邉渡村久保木安雄四九氏が繰上當選と正式決定した

競輪の明朗維持へ市民の協力を

市で宣傳を開始

「あの住宅もあの學校も競輪で」と市競輪室では先づ競輪開幕第一報を送り市民は勿論縣下縣外に大きな反響を呼んでおり舊正月二日第一回競輪の蓋開けに殘すところあと一ヶ月大入りは受合いと張り切つている何と言つても一時競輪と言えばバクチ屋やごろつきの集り場かと見られる様な、り正レースによる騷擾事件や放火まで引き起した問題がいまだ生々しき印象にあ不市當局でもこれが開催には愼重に愼重を重ね開幕宣傳と合せ大衆の健全娯樂であり明るいスポーツとしての競輪を理解、樂しく明るい競輪維持に市民の協力を望んでいる

あらゆる印刷は……
大和田印刷所え

賃上げ斗爭火蓋切る

磐炭勞委員

十二日交涉開始

新春早々古河炭礦勞組三千六百名では八日一月からの新賃金及び家族手當を要求したのをトップに磐炭勞傘下の大口炭鑛勞組では勞協締結と同時に賃金鬪爭の火蓋を切つた、隅田川常磐など何れも賃上げ要求を行うことになり磐炭勞支部委員廿三名は十二日鑛業連盟と交涉に入ることになつた

新賃金の要求額

古河炭礦　坑內夫五百六十圓(三百十六圓)坑外夫三百六十五圓、(二百十六圓)家族手當六百圓(四百圓)

隅田川炭礦　坑內夫五百六十圓、坑外夫三百卅圓　家族手當六百圓

常磐炭礦　坑內夫五百四十六圓坑外夫三百五十圓　家族手當四百圓

宙に迷うお樂しみ"くじ"

抽籤日控えて　十七萬枚も眠つてる

石城地方事務所では先月一日から卅一日まで「二重お樂しみ抽籤券」を發行し演劇、映畫入場券、麻雀、パチンコ、撞球などの利用券の半片と抽籤券を引換え入場者の增加と脫稅防止をねらい管內に十八萬枚の抽籤券を用意したが實際は宣傳の不足と利用者の不認識から一萬枚に達せず地方事務所でも頭を捻つている、この抽籤日は十日で支拂は十五日から行う、なほ第二回は一月一日から二日末日までで抽籤日は三月十日から九十日以內特賞一萬圓、前後賞二千圓、一等三千圓以下五等までで抽籤券の引換場所は平市內は藤越デパート、三井百貨店、市原商店湯本町は九丹百貨店、植田町大塚屋食料品店、小名濱町國華堂

川前村で農家燒く

八日午後一時ころ川前村大字上桶賣、農矢內永朗さんから發火住宅、馬小屋、物置、風呂場など四棟三十九坪を全燒した原因は同家の長男(八)ちやんら二、三人の子供達が同家西側の雪よけ藁附近で火遊びをしていたことから移火したもの損害約十五萬圓

脫走少年二人を公安官連戻す

石城郡川部村久保高(一五)假名及び同山田村辻村年雄(一三)假名の兩人は八日相馬郡中村町薰陶院(少年保護院)を脫走して列車に乘つてゐたが折柄警備中の平驛公安官に發見され同院に連行された

プランク女史と懇談

十一日郡下婦人會長會で

石城郡下各市町村婦人會長會は十一日午前十時から地方事務所會議室に開き來る二月初旬開講豫定の生活合理化講習會の在り方などにつき協議、同日成人學級視察に來平する東北民事部教育次長プランク女史と懇談を行うことになつている

官廳衞で連日自轉車盜難

市內仲間町平稅務署長小貫數馬さんは八日午後六時半頃平稅務署自轉車置場から中古自轉車一臺を盜まれた

無免許運轉手のトラック轢殺

平市胡摩澤町郵便局前通りで八日午後六時四十分ころ高久村志賀三郎さん所有トラック運轉助手小松一男(二七)が運轉中平市下平窪字曲田瓦職人長沼稔(二四)を轢死せしめた長沼が自動車を止めようとしたものと言われている、なお小松は無免許運轉

本社小野業務部長嚴父逝去

本社營業部長小野操氏嚴父小野禎氏は九日午前三時二十分老衰のため永眠した享年八十四才、告別式は十一日午後二時から小泉の自宅で行う、同氏は佐賀縣林務課長を經て平市に至り平町役場當時の水道部長として市の水道新設に快腕を揮い老後の餘生を送つてゐた

急募

本社留守番を急募する

一、年齡五十才位の未亡人
一、社內の掃除及びお茶番
一、給料其他の待遇は面談のこと

平市十五丁目
磐城毎日新聞社

平驛でスラる

四倉町原田五平電話局交換手藤井千惠子さんは八日午後五時三十分頃平驛ホームから下り列車に乘車の際所持していた手提袋からエナメル製財布現金六百四十圓在中をすられた

人事ニュース

平石炭事務所佐藤京三總務課長はこの程資源廳炭政局鑛害第二課長を命ぜられ十日赴任する

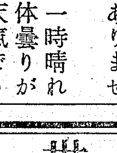
×

資源廳厚生課福士敏光課長は佐藤總務課長の後任として八日平石炭事務所總務課長に着任した

皮鞄盜難

市內大町四ノ三保險會社員佐藤秀夫さんは八日午後十時から九日午前七時迄の間居宅內から皮カバン二個現金二千圓久ノ濱漁業組合振出の額面三萬圓小切手業務上要書類在中を盜まれた

看護婦 助產婦 生徒急募
何時でも入學出來ます
平市南町
平助產婦看護婦學校
校長 實川彌太郎



十日前七時十五分　あぜ道通信、集團化に進む田園
後五時十五分　小供の時間、童話、長靴をはいた猫、保森覺造、
後六時三十分、襟卷物語り(第一回)郡山放送劇團

株式市況

一月九日前場

三人委員會の和平交涉說を入れて平和株に買氣高まり全面高となる

銘柄	株價	銘柄	株價
鋼管	七四	呉羽化	｜
洋紡	一〇九	苫小牧	一八五
鐘紡	一二七	十條紙	一三〇
日清紡	二六五	本州紙	一三〇
呉羽紡	一二八	日セメ	七三
日東紡	一〇〇	磐セメ	一五〇
片倉	七三	小野田	一三三
帝人	一五三	不動產	三〇六
東洋レ	一五三	陽和不	一七六
新光レ	一〇四	開東不	｜
山パル	三三九	三越	四二〇
東海上	五〇六	日ビール	一六五
郵船	一六九	朝ビール	一六二
三井船	一四六	キリン	一七五
日發	四一	寶酒造	一二〇
三井山	四六	野田	一二九

今晚は北西の風一時やゝ强く初めは晴天ですが次第に曇りがちとなり北部山添地方では雪しぐれがありませう

明日は北よりの風一時晴れ間もありますが大体曇りがちな、ぐづついた天氣でうすら寒いでせう

明後日は北のち北西の風小雨か小雪模樣ですがのち次第に良くなりませう

海上は今晚は季節風により風波が高くなります、明日はおだやかですが多少波立ておりますから小型漁船は注意を要しませうなお空氣がかんそうしてますから火の元に御注意下さい

父禎儀豫て病氣療養中の處九日午前三時二十分死去致しましたので生前の御厚誼を謝し併せてお知らせ致します
追而十一日午後二時自宅に於て告別式相營みます

昭和二十六年一月九日
平市大字小泉（舊飯野）
嗣子　小野　操
外　親戚一同
友人總代　大和田與兵衛

本場＝牛豚肉＝自慢
第一綠屋　電539
第二綠屋　電794
配達迅速

季節の寵兒!!!
文化木炭（厚生大臣推賞）
▼▼火持よく　▼▼臭氣なく
危險のない　經濟的な
木炭の敵？　加工燃料！
▼▼コタツ、火鉢用に最適
卸小賣、配達迅速
▼各種燃料取扱
製造販賣
平市正月町六六
有限會社 共榮燃料工業所
電話一二八四番
小名濱町船引場（登記所前）
共榮燃料小名濱出張所

講演會開催
世界情勢と株界の見透し
日興證券株式部長　內田嘉六氏
講演後一般の御質問に應答
日時　一月十三日【土曜日】午後六時より
會場　平市公會堂　日本間
嚴寒の折柄暖房設備あり
主催　磐城證券株式會社
後援　磐城毎日新聞社

宮田が誇る三大特徵
フラッシュバット熔接
靜電吹付塗裝
赤外線乾燥燒付
宮田の自轉車
平市六丁目
電話一〇一三番
代理店
鵜沼自轉車店

工員募集
自社印刷業務擴張のため工員若干名急募す
待遇總べては面談の上
磐城毎日新聞社

お米屋登録戦たけなわ

新舊業者の感情も露骨化して

主要食糧の民營移管からの米屋さん登録はあと數日と押し迫つて四十三名の新舊開業申請者が一ト頃の火花を散らした登録爭奪戦も正月中のアノテコノテの新戦術に名入れの手拭まで配るなど念の入つた運動から登録確實と自信滿々で決戦の蓋開けを待つているがそれでも中には未だ不安が殘つてゐると見て夜もオチ〳〵寢付かれず他の業者が喰入つた家庭を訪門裏面工作から安心し切つている者を戦慄させているため各業者は終盤戦に入つて得票の保持と業者間の割込みと新舊業者の露骨な感情など三ッ巴の戦は再燃する氣配となつている、なほ市商工課では初め登録日を十日と發表して來たがこの日は成人の日である爲十六日から登録を受付ける事となつた

この結果は興味を持つて見られてをる

川前村山下谷に分校場開設

大河原氏の住宅寄附で

川前村ではこんど平第二新聞販賣所主任大河原茂兵衛氏から寄附された同村小學校山下分校の開校式を近く行うことになつた、

同分校は約三十坪の平家建で五年ほど前に一部改築したもの、大河原氏は同村山下谷地内が川前本校から一里半も離れてをり子供達の通學に非常に不便を感じているのを見かねて先祖傳來の家屋を寄贈したもので其の美しい親心は同部落民初め村内から強く感謝されている

知事から表彰

優秀漁獲船舶に

縣漁業協組連合會では二月十二日平市公會堂で昨年中の最高漁獲カツオ、マグロ船底、曳船、施網船その他優秀な漁獲をなした小船舶表彰式を行い縣知事からの優勝旗授與をなすことになつた

磐崎村青年指導者講習會開く

磐崎村大字磐崎と同藤原の兩青年會では九、十日の兩日同村白鳥鑛泉喜樂屋で縣教委石城出張所草野仁、高木マタエ兩氏を講師に指導者講習會を開く

生活困窮者へ近く衣類支給

生活要保護者中特に困窮者に對する冬期衣料の特別配給は毎年全國一齊に年末を期して行われているが今年度の平市の割當ては一萬八千圓となつている

市社會課では右割當を最も良く生かし困窮者の扶助に寄與すべく要保護者を嚴密に調査の上、十日ころ布團カワ、衣類などを購入支給する

今年はお酒も増産

平窪ではすでに釀り込む

平税務署では廿六年度の管内酒造目標を昨年度の三千石から九百石上廻る三千九百石と決定したすでに平窪ではトップを切つて釀り込みを初めたなほ管内の原料米としての移入産米は會津安達、備前などによるが八日現在で備前米が四百石入荷している

勞基署長會議

縣下勞働基準監督署長會議は十一日福島で開き、災害撲滅對策其の他について協議する平からは原平勞基署長が出席する

衛生管理者協會

平勞基署管内各事業所及び工場の安全衛生管理者協會の役員會は八日午前十時から平勞基署で開き安全衛生管理から見た新年度事業計畫其の他について協議した

生活の敵ねづみを退治しませう

ねずみの害のあることは今更申上げるまでもなく、去年の一月三日にも東京の銀座で生後一ケ月の乳児が顏面鼻齒ぐき舌等をかじられて死亡し、また本縣相馬郡におこつた食中毒事件は患者三百十二名、死亡二十五名を出し、防疫係官等の調べによつてゲルトネル菌を發見し、その原因が納屋にねずみの小便のかかつたことが立證された。更に臺所のお米や野菜を食べる、たんすや本箱をかじる衣類をかじつて穴をあける、決してねずみは一部世間で云う福の神のお使ではありません

今、日本中の家にねずみが一匹居るとして一匹のねずみが一日二十瓦の食糧を食べるならば、ねずみの食べる食糧の總量は約二十三萬トンになるのです、一口に二十三萬トンと云つてもわかりにくいでしようが八百萬人の人の七ケ月の食糧になるのです

これは家ねずみだけの事ですが、この外どぶねずみ二十日ねずみなど三億二千萬匹もいるといわれるねずみが、道具や衣類や農作物に害することを考えると何百億になるか計算が出來ない位です、日本中に一匹もねずみがいなくなればそれだけお金がうくのです、こうした目に見えないことで國家が貧乏して居るのです

この外衛生上から見ると、ねずみにたかる蚤からペストや發疹熱がうつりねずみのふんや小便からワイル氏病という病氣になつたり腹いたを起したりします、また便つぼのうじを喰うので腸チフスや赤痢のなかだちもします、つゝが虫病や家だに等みんなねずみのしわざです、ねずみが福の神のお使だなどとんでもない話です、貧乏神疫病神のねずみをみなさんのお家に同居させないで下さい

先頭本市ではねずみ退治をしましたが、まだまだ絶滅されないようです、引きつゞいてねずみ退治に御協力下され、一匹のねずみも居ない快適な市民生活の出來る環境を建設いたしましよう

筆者平市衛生課長小谷氏

物置小屋を燒く

七日午前三時半ころ磐崎村上湯長谷字梅平採炭夫渡邊辰雄(四三)方物置小屋から發火同小屋を燒いた原因はかまどの殘火不始末

勞災主任會議開く

縣下勞基署勞災主任會議は十一、二日の兩日福島市で開き、勞災運營について協議する平勞基署からは瀧田監督官が出席する

漁業制度改革徹底

石城郡漁業調査委員會では去月十七日から三十一日の間管下漁場の第一次調査を行いその結果に基き七日午前十一時から調査委員十名專門家七名參集の上小名濱漁業組合事務所で第五回石城郡漁業調査委員會を開き△漁場計畫、△茨城、福島縣境問題等を協議した漁場計畫は業者に對し制度改革の主旨を徹底させると共に委員會で漁場の再調査を行う事、縣境問題については他縣からの折衝に備える事に決定、來る十五日から漁場の第二次調査に乘り出す事になつた。尚第六回同委員會は本月末江名漁業組合で開く豫定

十二萬圓紛失

平市新田町青果物商長谷川鐵治さんは六日朝同市内路上で現金十二萬四千圓を落した

農改課設置

石城地方事務所では、いままで平市、湯本、植田町及び三坂村の四ケ所にあつた農業改良指導所を統轄、同地方事務所内に、新たに農業改良課を設置六日から發足した

初代課長には湯本町大和田武男氏が發令された

豆交通整理班出動

湯本校兒童で事故防止に

最近とみに増加して來た交通事故の頻發から湯本小學校では自動車事故の災禍から救うため七日午前九時から全校兒童によつて交通事故防止隊を組織し同町内廿ケ所に分散、寒風にめげず健康な聲を張りあげ交通整理と事故撲滅に對する啓蒙宣傳を行い道行く人の認識を新にして町當局から感謝された

田町一小生徒會

平第一小、田町地區生徒會では七日午後六時からいわき民報ホールで左のプログラムで新年會を開いた。

一、會開の挨拶、會長大久保愼、二、市井先生の挨拶三、黒田第一小校長の話、四、會員の話及遊戯などで賑いを呈した

片濱廻り驛傳競爭

14日常銀前をスタート

磐城スポーツ連盟では高体連石城支部、郡連合青年會と共催で來る十四日午前八時半から第五回片濱廻り驛傳競爭を開く、參加者は一般選手、高校生のほか本年から新加入の青年會などの對抗大會でコースは午前十時平市二町目常陽銀行前をスタートして湯本、小名濱江名、高久、草野と一巡して常陽銀行前に歸る卅四キロコースである

多數參加を希望してゐる

留守中布團消ゆ

平市仲町一三炭礦業鈴木傳明さん方では去る四日から七日午前八時頃迄の留守中に居宅内四疊半から布團十二枚夜着二枚計五萬七千圓相當を盜まれた

市吏員スラれる

湯本町辰ノ口五六公吏(平市役所勤務)永山金吾さんは八日午前市内七十七銀行平支店前路上でチャック付鞄の中から萬年筆三本、シャープペン一本、印鑑を盜まれた

自轉車を盜まる

高久村大字下高久清水三一地方事務所經濟課勤務箱崎修二(二九)さんは六日午前十一時三十分頃市內童ノ前同所自轉車置場より中古自轉車一臺を盜まれた

故橋本氏告別式

故參議院議員橋本萬衛門氏の告別式は八日午後一時から郡山市の自宅に於て政黨關係その他有志多數參列の上嚴かに執行された

鈴木市長參列

八日午前八時廿分發列車で鈴木市長馬目縣議を始め市內關係有志多數は橋本氏告別式參列即日歸宅

新主食購入通帖

各町村へ發送

石城地方事務所では廿六年度主要食糧購入通帖がこのほど入荷、八日に各町村え一齊に送布したこの通帳による配給は指定配給所又は各自が登錄した配給所で受けることになつてゐる

俳句

清流に落ちて別るゝ
紅葉かな　泉水
川前や焚火に宴の
盛り行き　〃
焚火てて話飛び交う
谷間かな　〃
驛近し一枚欲しく
紅葉狩り　〃
（青年會にて川前吟）

紅葉ふむ二人の心靜かなり
税務課　秋光
溪流をへだてゝ近き
紅葉かな
陽は西に小枝かついて
紅葉狩
税務課　阿部公一
夕映えにひときは淋し
紅葉狩　〃
人の波上で紅葉が
手でまねく

俳句する心

毎日の生活のなかから俳句が生れる、樂しい氣持で俳句ができてくる、今まで見過していた生活の断面が短い詩にとりあげられると、はつきりしてきて俳句そのものがほのぼのとした樂しさにつゝまれてくる

紅葉狩も勿論俳句の一断面であるあの印象的な美しさにうたれたとき思はず口をついて出てくるのだ、しかし俳句は短いことばに制限されているからなるべく觀賞する者のゆたかな想像力にうつたえることが必要だと思う

清流といわないでも大体紅葉といいながれといつただけで、すでに水のきよらかさが想像されるから、流れの姿を表した方がよいと思う紅葉ふむの句も、靜かな心といわないで、あたりの靜さをいうことによつて心の靜かさがにじみでてくるような表現が望ましい、心の動きが對象によつて引つぱりだされるという句でありたい無限につくることも練習の一方法としてとり上げられることもあるが、無理は無理である

俳句はやはり風物詩であるあまり美しいことばをつかわずにふつうの言葉で彫りの深い作品にしたいものだ

社告

本社新社屋も落成し從來の依託印刷も新社屋內に於て自社印刷となり目下新活字新機械の据付中ですから當分の間遲配遲達或は不体裁の處も多々あることをお許を願つて將來の飛躍に御期待下さい

開店披露
江戸前風御座敷
天ぷらで白鷹の酒!
小料理おでん　なべやき
花長（ハナチョウ）
平市新田町中央
電(呼)一五二番

皮膚科
性病科
内科
矢吹醫院
平市縣社下
矢吹大一郎
電話一一九五・一二九三

新年會は溫かい靜かな倉座敷で!!
お酒持込歡迎御相談に應じます
早朝より入浴が出來ます
紺屋町
【舊】白井邸跡
♨西鳳
電350

◇鷄肉　鷄卵　兎肉◇
卸小賣問屋
◎◎多少に拘らず
御用命下さい◎◎
平市南町
電話1019番
鳥半

謹賀新年
本年も相變らず御贔屓の程を願上ます
平會館
金成一
電話六二四番

平市下平窪
川角牛乳店

磐城名産
鰹節
鹽辛
皆樣の魚店
㊀丸市屋
平市四丁目
電話二一三番

冬の註文洋服は
親切叮嚀安値の……
渡邊洋服店へ
平市二丁目　電話九五七番

くすり
今日も元気で
電四〇
平四
関内藥局